



ゆり組だより8月号

令和4年8月22日 ことり保育園 担当:太田



連日、気温がとても高く、戸外での活動が出来ない分、製作活動の中で夏を感じられるように働き掛けています。進級当初よりも子ども達が意欲的に活動に取り組めており、働き掛けている私達も、とても楽しい時間となっています。

さて、先日、保育者が家庭菜園で採れた茄子を園に持参し、観察する機会がありました。なんと、20cmもの大きさと、子どもの顔よりも大きく、みんなが驚きました。すぐに子ども達が集まり、「見せて」「持たせて」と大賑わい。見た目に驚いた後は、「中身はどうなっているんだろう」、「味は普通の茄子と一緒になのかな?」と興味津々でした。実際に茄子を切ってみると、中身は同じことにまた驚いている様子。「どんなに大きくても茄子は茄子なんだ」と口にある子もあり、面白い体験が出来たひと時でした。

また、先日たんぽぽ組と一緒に野菜スタンプの製作を行いました。自分達より小さい子を相手に、少しお兄さんお姉さんの表情で、「この場所が空いてるよ」、「こうやるんだよ」と、お助けマンをしてくれました。たんぽぽ組が保育室に戻った後は、急にいつもの調子で「野菜だけじゃなくて、手形にしてもいい?」「いっぱい色使ってもいい?」と、両手が絵の具で一杯色付くほど、楽しく活動していました。

小さい子の前では、年長者らしく振る舞うゆり組の子達に、遅さと成長を感じ、嬉しくなりました。

— お願ひ —
アルミのお弁当箱の
ご利用にご協力ください。